

たか ひと
すみ 隆仁

議会活動報告 2021年1月

経歴
昭和54年2月20日 千葉県生まれ
千葉大学附属小学校卒業
市川学園(市川中・高校)卒業
日本歯科大学新潟生命歯学部卒業
日本大学大学院総合社会情報研究科
修士課程修了(国際政治コース)
歯科医師

現在
自由民主党
千葉県千葉市美浜区第十二支部 支部長
千葉市議会環境経済委員会副委員長
農政審議会委員、保護司・消防団員等



令和2年 第4回千葉県議会定例会 すみ 隆仁 の 一般質問 Q & A

- 1.ふるさと納税について
- 2.私立幼稚園の保育料等助成金事業について
- 3.プレミアム商品券について
- 4.熊谷市政について
- 5.美浜区の諸問題について
 - (1)打瀬地区におけるごみ空気輸送システムの問題について
 - (2)国道357号浜田交差点のごみのポイ捨てについて
 - (3)検見川浜の活用について
 - (4)海浜幕張駅北口バスロータリーについて

**打瀬地区における
ごみ空気輸送システムの問題について**

Q 打瀬地区の幕張クリーンセンターでは、令和元年9月2日から発生している廃棄物空気輸送システムのごみ輸送管不具合に伴い、本復旧までの間、暫定的な運用が行われています。不具合原因であった輸送管の暫定的止水対策が令和2年3月末に完了したため、ごみ収集車を使った臨時収集を継続しつつ、週に1度、可燃ごみについて追加で廃棄物空気輸送システムを使用した試験的ごみ収集が実施されてきました。その試験的に行われていたごみ収集が、本年9月28日から中止になったとのことですが、その中止の原因はどのようなものだったのでしょうか。また、今回の補修方法や、本復旧の進捗状況についてお聞かせください。



A 令和2年9月24日に、輸送管内へ多量の地下水の流入が確認されたことから、ごみの空気輸送が困難であると判断し、9月28日から12月7日まで、試験的ごみ収集を一時中止しました。地下水の流入原因は、仮補修部の破損によるものでした。ごみが同じ箇所集中してぶつかった衝撃により亀裂などが生じ、ごみを送風する空気圧により破損したものと推察されています。

今回の補修方法についてですが、破損していた補修材を取り除き、前回と同様に管内から繊維強化プラスチックにより穴をふさぐ補修(ライニング工法)を実施し、止水しました。12月8日より、試験的ごみ収集を再開しております。また、本復旧の進捗状況についてですが、今年度、配管ルートを幕張クリーンセンター敷地内に決定するとともに、現在、敷設方式及び工法の選定、概算事業費の算出等を行っているところです。加えて、地質調査及び測量についても進めております。来年度には工事に着手し、令和4年5月の稼働を目指して復旧に取り組んで参ります。

検見川浜の活用について

Q 稲毛から幕張にかけての総延長約4.3kmの人工海浜は、その大きなポテンシャルを活かすため、「海辺のグランドデザイン」というビジョンのもと新たな魅力づくりが推進されています。稲毛海浜公園の検見川地区も重要なエリアです。民間活力の導入による施設整備が行われましたが、隣接するサイクリングセンター跡地についても地元の方々と連携して活性化に取り組むべきだと考えています。そこで、「海辺のグランドデザイン」における検見川地区の位置づけ、また、今後のサイクリングセンター跡地の活用について考えをお聞かせください。



A 検見川地区は幕張の浜といなげの浜の中間に位置し、海辺全体の賑わい創出や回遊性向上を図るために活性化が重要です。「マリンスポーツの海辺ゾーン」に位置づけられ、マリンスポーツを通じて海を楽しめるエリアを目指しています。サイクリングセンター跡地では、ビーチステーションなどを設置して、老朽化したトイレの改修も進める予定です。毎年、検見川ビーチフェスタも開催しており、今後も地元との連携を図り、活用を検討して参ります。

TOPICS 千葉県湾岸地区道路についての要望書を提出しました



東京都と千葉県を結ぶ湾岸地域では、人・モノの流れが集中し慢性的な渋滞が発生しており、交通の円滑化が課題となっています。令和2年5月には『千葉県湾岸地区における規格の高い道路計画の基本方針』が策定され、多車線の自動車専用道路の計画の具体化、外環高谷JCTから蘇我IC周辺ならびに市原IC周辺までの湾岸部におけるルート検討などが進められることとなりました。新たな湾岸道路による社会経済活動の活性化に期待する一方、美浜区には多くの人が暮らす住宅地もあるため、その計画具体化にあたっては生活環境への配慮が必要だと考えています。そこで、速やかに計画段階評価の手続きに着手し、地域とのコミュニケーションを行いながら検討を進めること、また、ルートや構造の検討にあたっては地域の生活環境に配慮することを要請する要望書を提出しました。



令和2年12月18日

衆議院議員 門山宏哲 殿

千葉県議会議員 白井正一
千葉県議会議員 米持克彦
千葉県議会議員 鷺見隆仁

要 望 書

湾岸地区においては、京葉道路、東関東自動車道、国道357号、国道16号などにより社会経済活動が支えられておりますが、都心方面と千葉県を行き交う人・モノの流れが集中し、広範囲にわたって慢性的な渋滞が発生しており、交通の円滑化が喫緊の課題となっております。

令和2年5月に国や県等から構成される「千葉県湾岸地区道路 検討会」において、『千葉県湾岸地区における規格の高い道路計画の基本方針』が策定され、規格の高い道路として、多車線の自動車専用道路の計画の具体化が必要であること、外環高谷JCTから蘇我IC周辺ならびに市原IC周辺までの湾岸部においてルートを検討を進めること、速やかに計画段階評価の手続きに着手すること、新たな湾岸道路による社会経済活動の活性化に期待していることとします。

一方、千葉県美浜区の湾岸地区には、商業施設や食品コンビニなどだけでなく、多くの人々が暮らす住宅地もあり、新たな湾岸道路の計画の具体化にあたっては、生活環境への配慮が必要であると考えています。

ついでに、下記の事項について、特段の御高配を賜りますよう、要望します。

記

- 1 速やかに計画段階評価の手続きに着手し、地元への丁寧な説明や意見把握を行うなど、地域とのコミュニケーションを行いながら検討を進めること。
- 1 ルートや構造の検討にあたっては、地域の生活環境に配慮した計画とすること。

以上